

# 平成25年度 全国学力・学習状況調査の分析

佐賀市立東与賀中学校

## 1. 「生徒質問用紙」について

### 【1】『学び合い』活動について

質問項目の(8)(9)(57)にあるコミュニケーション活動に関するものは、全国平均に比べて、(8)は5ポイント上回り、(9)(57)は15ポイント上回っています。これは、本校が平成23年度より校内研究で取り組んでいる『学び合い』学習の成果であると考えています。『学び合い』によって、各授業で、一人一人が発言したり、コミュニケーションを取りながら問題解決していくことが実践できていることを表しています。

また、『学び合い』活動の目的は、「学力の向上」と「人間関係の向上」です。(48)(52)が全国平均より5ポイント上回っているのは、『学び合い』の意義を生徒がよく理解して活動している証だと考えられます。

### 【2】自主学習ノートについて

質問項目の(35)では、全国平均より8ポイントほど上回っています。これは、全校で取り組んでいる自主学習ノートによるものが大きいと考えています。毎日1ページを、予習、復習等、自分で考えて取り組んでいます。しかし、質問項目の(23)では、1日の家庭学習の時間が、全国平均より6ポイントほど低いです。これは、自主学習ノートをはじめ、宿題だけの学習に終わっていると予想されます。今後は、1ページの内容をより密度の濃いものにしていくことと、自主学習ノート以外の学習も充実させていくことが期待されます。

### 【3】将来の夢について

質問項目の(2)は、全国平均より10ポイントほど低いです。本校生徒は、自分を上手に表現できない生徒が多いです。それが、将来のことを明確に言えない理由であると思われます。授業の中に『学び合い』を取り入れることで、自尊感情、自己肯定感を高めていくことを考えています。また、本年度の教育目標には「夢」という目標を掲げて、行事や生徒会活動の中で全校生徒に意識して行動するようにしています。

○割合が高い項目（割合は、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」）

番号	質問内容	本校	全国
(8)	自分の行動や発言に自信をもっている。	54.0	49.8
(9)	友達に伝えたいことをうまく伝えることができる。	73.0	67.5
(35)	家で学校の宿題をしていますか。	95.0	86.8
(48)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	99.0	93.5
(52)	友達が悪いことをしたときは注意しますか。	86.0	70.9
(57)	普段の授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか。	80.0	64.7

○割合が低い項目（割合は、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」）

番号	質問内容	本校	全国
(15)	将来、なりたい職業はありますか。	69.0	69.5
(23)	1日当たり、どれくらい勉強しますか。（塾等も含む。） 1時間以上の学習時間をしている人	60.0	66.6

## 2、「調査結果（国語、数学）」について

### (1) 国語の調査結果

#### 【国語A】（知識問題）

(領域)

区分	本校	全国
書くこと	61.1	64.5

(評価)

区分	本校	全国
話す・聞く能力	73.2	77.6
言語についての知識・理解・技能	73.2	77.5

#### 【国語B】（活用問題）

(領域)

区分	本校	全国
読むこと	63.0	67.8

(評価)

区分	本校	全国
読む能力	63.0	67.8

【国語A】（知識問題）は、全国平均より4ポイント低い結果でした。【国語B】（活用問題）は、全国平均より、4ポイント低い結果でした。

左記に載せているのは、全国平均より大幅に下回った項目です。それ以外の項目は、全国平均とほぼ同じ結果になっています。

【国語A】の領域では、「書くこと」が全国平均より3ポイントほど低かったです。

【国語B】の領域では、「読むこと」が全国平均より5ポイントほど低かったです。【国語B】の評価では、「読む能力」が5ポイントほど低いです。

設問の内容では、司会者の発言として適切なものを選ぶ問題や書いた文章を目的に応じた表現に直す問題などの正答率が全国平均に比べて低かったです。また、図と文章との関係を捉える問題も全国平均に比べて低かったです。今後は、文章をよく読んで、要約したり説明したりする力をつけていく必要があると考えています。

### (2) 数学の調査結果

#### 【数学A】（知識問題）

(領域)

区分	本校	全国
数と式	68.1	72.7
図形	58.6	64.6

(評価)

区分	本校	全国
数学的な技能	63.4	67.9
数量や図形などについての知識・理解	56.4	59.8

#### 【数学B】（活用問題）

(領域)

区分	本校	全国
数と式	32.7	41.7
図形	33.8	44.8

(評価)

区分	本校	全国
数学的な見方や考え方	27.4	34.8
数学的な技能	46.5	53.1

【数学A】（知識問題）は、全国平均より4ポイント低い結果でした。【数学B】（活用問題）は、全国平均より、6ポイント低い結果でした。

左記に載せているのは、全国平均より大幅に下回った項目です。それ以外の項目は、全国平均とほぼ同じ結果になっています。

【数学A】の領域では、「数と式」が全国平均より、15ポイントほど低いです。【数学A】の評価では、「数学的な技能」が5ポイントほど低かったです。

【数学B】の領域では、「数と式」が全国平均より、9ポイント低く、「図形」は、10ポイントほど低い結果になっています。【数学B】の評価では、「数学的な見方や考え方」が7ポイントほど低い結果になっています。

設問の内容では、具体的な事象から、連立方程式を作ったり、一次関数の式に表したりするような問題の正答率が低かったです。また、三角形の合同を利用して、証明を行う問題の正答率も低かったです。今後は、問題を読んで、条件を整理して、立式したり、証明したりする力をつけていく必要があると考えています。

### 3, 今後の取り組みについて

今回の調査結果では、本校生徒は全体的に落ち着いた生活が送れているようです。校内研究で、『学び合い』を取り入れていることもあり、自分の考えをもち行動できることに自信をもっている生徒が多いようです。また、「いじめはいけない。」「友達に注意する」等の回答のポイントが高いように、コミュニケーションにより、学習面だけでなく、人間関係の向上につながっているように思えます。また、自主学習ノートの取り組みによって、毎日の家庭学習も定着しているようです。

今後の課題は、学力の向上です。国語、数学ともに、A、Bともに、全国平均を下回っています。「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」という問いに、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒が8割で、全国平均を15ポイント上回っています。『学び合い』活動の目的は、学力の向上ですが、国語、数学の結果を見ると結果が表れていません。コミュニケーションが目的になってしまっているところがあるかもしれません。今後は、『学び合い』活動を効果的に取り入れる方法を考えていく必要があると考えています。そして、生徒が意欲的に学習を行い、問題解決をしていくことで、学力の向上に結びつくようにしていきたいと思えます。